

# 一般社団法人 千葉県臨床工学技士会 論文執筆例

表題は 14 ポイント

千葉臨床病院 臨床工学科<sup>1)</sup> CE 学科<sup>2)</sup>

所属が 2 つ以上ある時は上付き番号で区別し、著者名と所属が合うように記載

○千葉一郎<sup>1)</sup>、臨床二郎<sup>1)</sup>、工学三郎<sup>2)</sup>

著者本人には名前の前に「○」印を付ける

本文は 10 ポイント

## 1. 目的

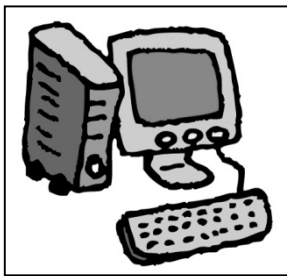
1. 2. 3. . . . で段落を作る

回路内部での血栓形成の原因として . . . . の注意が必要とされている<sup>1)</sup>。  
また、. . . . 。

参考文献の番号を上付きで記載

## 2. 対象

本実験の対象は○○○、×××××、△△△の 3 種類とした(図 1)。



図番号を記載

図は一枚 400 字にカウント

図は、下に図番号と表題を記載

図 1 : パソコン

## 3. 方法

測定は 1 分後、5 分後、10 分後 . . . . . で行い、. . . . . を測定した。

## 4. 結果

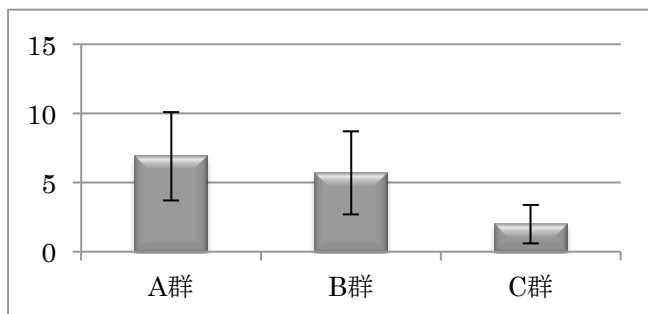
. . . . . は、. . . . . であった(表 1)。

表番号を記載

表は一枚 400 字にカウント

表は、上に表番号と表題を記載

表 1 : A 群、B 群、C 群の比較



## 5. 考察

〇〇は××に比較して・・・のような特性がある。そのため、回路内の血栓ができやすいと考えられる<sup>2)</sup>。

参考文献の番号を上付き番号で記載

## 6. 結語

回路内部での血栓形成は、・・・が関与していると示唆された。

## 7. 参考文献

- 1) CE 太郎、工学次郎、千葉花子、他：千葉県臨床工学技士会の歴史. CE Journal, 2014 ; 10 : 73-75

雑誌の場合、下記の順で記載

著者名 (3名まで) : 論文名. 雑誌名, 発行年 ; 巻 : 頁 (初頁-終頁)

- 2) CE 花子、千葉次郎、千葉花子、他：千葉県臨床工学技士会法. CE 本, 2013 ; 10-13, CE 社

書籍の場合、下記の順で記載

著者名 (3名まで) : 論文名. 書籍名, 発行年 ; 頁 (初頁-終頁), 出版社

- A4 縦型 35 行指定で、余白は、上下左右 30mm
- 日本語は MS 明朝体、アルファベットは Century 文字を使用
- 文字数は 6000 字以内、図表は 1 つ 400 字にカウント